



忙しがる人ほど本当は忙しくない人である！！

皆さんの周りにもいつも「忙しい」「忙しい」と言って、むやみに忙しがっている人が一人や二人はいるのではないのでしょうか？

「忙しい」「忙しい」と言っておれば、よく仕事をしているように周りが見てくれると思っているのか？あるいは、自分は有能だということをアピールするためにそうしているのか？

「忙しい」と言っておれば、それ以上の仕事を押し付けられることも無いであろうという考えから「忙しい」の安売りをしている怠け者もいる。

しかし、それではいずれ「化けの皮」も剥がれるであろう。

実際、傍から見ていて、確かに時間に追われつつ、忙しそうに走り回って仕事をしている人もいる。書類の山に埋まり、休憩を取る余裕すら無い人である。いつも遅くまでサービス残業をしている。場合によっては休日も会社に出て仕事をしている。

このような人は、どうして自分が忙しいのか考えてみようとはしない。自分は忙しいと思い込んでいるので、気ばかり焦って仕事も計画通りには捗っていかない。忙しくしていても空回りの部分が多く、仕事の効率は上がっていかない。

期間的にも余裕が無い状態で、いつも納期に追われて仕事をしているので、一つの仕事が終わった時にはすでに次の仕事の納期が迫っている。期限に追われるという悪循環から抜け出せないのである。

時間や期限に追われて仕事をしている人は残業もマンネリになっているが、密度の高い仕事をする場合、長時間に渡って効率の良い作業を続けるのは不可能である。まして、夜遅くまで集中して働くのは不可能である。まず、残業のメリットは存在しないと言っても過言ではない。

残業が常習となっている人は途中で気を抜いたり、適当な休憩を取ったり、途中で怠けるテクニックを身に付けているはずである。そうでないと身体がもたない。

忙しいとは、「心」が「亡くなる」と書くということは、多くの人知っていることだが、忙しいというのは自分が時間に追い回されて、時間を上手に使っていないことの「証」にもなってくる。要は自分の時間の管理が出来ていないことの「証」なのである。

自分の時間の管理がきちんと出来ないビジネスパーソンが、効率よく業務の遂行が出来るかというそれは無理というものであろう。

時間の管理が出来ないと、改善すべき点も見えては来ない！！ムダの排除も困難である。

